

科目名	憲法	担当教員	鎌田 晋
科目コード	310001	授業形態	印刷
単位数	2	必修・選択	必修

授業概要

- 1 外国人の人権（14頁～25頁）
- 2 プライバシー権（26頁～35頁）
- 3 自己決定権（36頁～47頁）
- 4 法の下での平等（62頁～71頁）
- 5 信教の自由（72頁～81頁）
- 6 表現の自由（82頁～103頁）
- 7 営業の自由（104頁～113頁）
- 8 生存権（114頁～125頁）
- 9 天皇（148頁～157頁）
- 10 平和主義（158頁～167頁）
- 11 国会（168頁～187頁）
- 12 内閣（188頁～199頁）
- 13 裁判所（200頁～211頁）
- 14 司法審査制（212頁～221頁）
- 15 地方自治（222頁～231頁）

授業修了時の達成目標

- 1 立憲主義の意義及び日本国憲法の基本原理を理解する。
- 2 日本国憲法における人権保障と統治機構の概要を理解する。
- 3 現実に生じる憲法問題について、自分で考え、一定の結論を出せるようにする。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
いちばんやさしい憲法入門 第6版	レポート	100.0%	
	科目試験	100.0%	

科目名	情報リテラシーと処理技術 I	担当教員	江田 孝
科目コード	310002	授業形態	印刷
単位数	2	必修・選択	必修

授業概要

テキスト教材を中心に情報システムの発展、コンピュータ（ハードウェア・ソフトウェア）、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深めます。

テキストを通じパソコンの基本操作、ワープロソフトの基本操作、表計算ソフトの基本操作を学習し、実践に繋げていく

授業修了時の達成目標

情報システムの発展と役割について理解を深め、これからの情報化社会を生きる上で必要となる基礎知識と技術を身に付けます。

《学習成果》

レポート：コンピュータの仕組みとハードウェア・ソフトウェアについて学ぶ

科目試験：コンピュータを利用することをより具体的な課題にして実習への理解を深める

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
よくわかる情報リテラシー 改訂新版 コンピュータと情報システム第2班（サイエンス社） ネット検索にて、参考資料を収集してください	レポート	100.0%	
	科目試験	100.0%	

科目名	情報リテラシーと処理技術Ⅱ	担当教員	江田 孝
科目コード	310003	授業形態	印刷
単位数	2	必修・選択	選択

授業概要

テキスト教材を中心に情報システムの発展、コンピュータ（ハードウェア・ソフトウェア）、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深めます。

テキストを通じパソコンの基本操作、ワープロソフトの基本操作、表計算ソフトの基本操作を学習し、実践に繋げていく

授業修了時の達成目標

情報システムの発展と役割について理解を深め、これからの情報化社会を生きる上で必要となる基礎知識と技術を身に付けます

《学習成果》

レポート：I o T機器への不正アクセスと被害について理解し、適切な管理ができるようになる。

科目試験：「ネットワーク社会の概要」「情報セキュリティ」「アナログ信号のデジタル化」について理解し効果的に活用できるようになる。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
よくわかる情報リテラシー 改訂新版 情報セキュリティ 10 大脅威 2020	レポート	100.0%	
	科目試験	100.0%	

科目名	英語コミュニケーション I	担当教員	宮里 幸子
科目コード	310004	授業形態	印刷
単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要 (テキストによる通信教育)

〈Pre-unit〉

Unit1:自己紹介

Unit2:場所の案内

Unit3:あいさつ

Unit4:好きなもの(こと)を尋ねる

Unit5:ものがある場所を指す表現

Unit6:遊び

Unit7:食

Unit8:トイレ

Unit9:一日の活動報告

Unit10:行事予定

Unit11:保育計画

Unit12:体調不良

Unit13:保護者へ電話をかける

Unit14:お別れとお礼

* 英語で読む日本昔話、英語の唄

授業終了時の達成目標

- 1.保育現場で「日本語がわからない親子」を受け持つことになったと想定し、現場で必要な英語表現を学ぶ。
- 2.音声ファイル(ダウンロード)を活用し、英語の音に馴染む。
- 3.1と2を通し、自ら進んで英語でコミュニケーションを取ろうとする積極性を養う。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
Happy English for Childcare (KINSEIDO) *しっかり学習したい方には、英和辞書の活用をぜひおすすめします。最近ではネットで手軽に単語が調べられますが、手元に一冊辞書を置くことをおすすめします。この機会に基礎から英語を学び直したい方は、中学生向けの辞書がわかりやすく使いやすいです。 *解答は学校にて閲覧。テキストを解いていること。	試験	100.0%	
	レポート	100.0%	

科目名	健康科学	担当教員	島袋 桂
科目コード	310005	授業形態	印刷
単位数	1	必修・選択	必修

授業概要

健康とは何か、世界保健機関 WHO の憲章の前文によれば、「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされている状態にあること」と定義されている。この定義に沿って、現代社会における健康の現状と課題について理解を深める。

授業修了時の達成目標

1. 現代の健康問題について理解する。
2. 運動と身体の健康について理解する。
3. 運動と心の健康について理解する。
4. 健康観と健康に関する社会のしくみについて理解する。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
テキスト健康科学 改定2版 (南江堂)	レポート	100.0%	
	科目試験	100.0%	

科目名	保育のスポーツ	担当教員	手登根 雄次
科目コード	310006	授業形態	実技
単位数	1	必修・選択	必修

授業概要

【講義】

- ・ 運動における発達課題とアセスメント（評価）について
- ・ 現代における運動についての考え方
- ・ 運動プログラム作成の工夫
- ・ 障がい児に対する運動の考え方
- ・ 運動時におけるコミュニケーション方法
- ・ 運動時などにおけるリスクマネジメントについて

【実技】

- ・ 準備運動
- ・ 卓球
- ・ ドッジボール
- ・ サッカー
- ・ 創作運動
- ・ クールダウン
- ・ ストレッチ

授業終了時の達成目標

- ・ 運動の楽しさを理解し、相手に伝える・教える視点を理解する。
- ・ 運動を通して、健康・発達に対する意識を高める
- ・ 運動を創作していく考え方と視点を理解する。
- ・ 現代の運動に対する流れを把握し、リスクマネジメントについて理解する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	スクーリング	100.0%	

科目名	保育原理	担当教員	仲宗根 由美
科目コード	310007	授業形態	印刷
単位数	2	必修・選択	必修

授業概要

<授業内容>

* 保育の意義を理解し、保育の基本的知識、思想や歴史、制度、内容と計画、方法など学ぶ

1. 保育の意義と目的

子どもの最善の利益と保育について

保育園が果たす社会的な意義や役割

2. 幼稚園・保育園・幼保連携型認定こども園など子育て支援新制度の趣旨と概要

幼稚園・保育園・幼保連携型認定こども園の相違点と共通点

3. 保育の基本・目標と内容

保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について知る

・養護と教育の一体性

・環境を通して行う保育・教育

・保護者との連携（乳児保育）、保育の専門性

4. 保育の思想と歴史

・諸外国の保育、日本の保育

5. 保育の現状と課題

・諸外国、日本の保育問題と課題を考える

授業終了時の達成目標

* 保育に意義や目的について理解する

* 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こどもの基本的な保育内容や相違点、共通点を理解する

* 目標、内容、保育の専門性を理解する

* 保育の歴史と現状について理解する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ① 保育原理 (中央法規出版)	レポート	100.0%	
	科目試験	100.0%	

科目名	教育原理	担当教員	西本 裕輝
科目コード	310008	授業形態	印刷
単位数	2	必修・選択	必修

授業概要

1. 教育の意義
2. 教育の目的
3. 乳幼児期の教育の特性
4. 教育と子ども家庭福祉の関連性
5. 人間形成と家庭・地域社会
6. 諸外国の教育思想
7. 諸外国の教育の歴史
8. 日本の教育思想・歴史
9. 子ども観と教育観
10. 教育制度の基本
11. 教育の法律と行政
12. 諸外国の教育制度
13. 教育実践の基礎
14. さまざまな教育実践
15. 生涯学習社会における教育の現状と課題

授業修了時の達成目標

教育の本質とは何かについて自分のことばで説明でき、自分なりの考えを持つことができる。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ② 教育原理 (中央法規出版)	レポート	100.0%	
	科目試験	100.0%	

科目名	こども家庭福祉	担当教員	比嘉 暢哉
科目コード	310009	授業形態	印刷
単位数	2 単位	必修・選択	必修

授業概要 (テキストによる通信教育)

【科目のねらい】

児童福祉法第1条に「全て児童は、児童の権利に関する条約にのっとり、適切に養育されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する」とある。児童の権利に関する条約には、「子どもの最善の利益」「意見表明権」などがあり、子どもは受動的な存在ではなく、能動的な存在としてとらえる必要があることを理解する。

1. 子ども家庭福祉の理念と概念
2. 子ども家庭福祉の歴史の変遷と諸外国の動向
3. 子どもの人権擁護
4. 子ども家庭福祉の制度と実施体制
5. 子ども家庭福祉の施設と専門職
6. 少子化と地域子育て支援
7. 母子保健と子どもの健全育成
8. 多様な保育ニーズへの対応
9. 子ども虐待・ドメスティックバイオレンスとその防止
10. 貧困家庭、諸外国籍の子どもとその家庭への対応
11. 社会的養護
12. 障害のある子どもへの対応
13. 少年非行等への対応
14. 次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進
15. 地域における連携・協働とネットワーク

授業修了時の達成目標

- 子どもの人権擁護について説明できる。
- 子ども家庭福祉の制度と実施体制について説明できる。
- 子どもを取り巻く環境について説明できる。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ③ 子ども家庭福祉 (中央法規出版)	試験	100.0%	
	レポート	100.0%	

科目名	社会福祉	担当教員	比嘉 暢哉
科目コード	310010	授業形態	印刷
単位数	2	必修・選択	必修

授業概要

1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷
 - (1) 社会福祉の理念と概念
 - (2) 社会福祉の歴史の変遷
 - (3) 子ども家庭支援と社会福祉
2. 社会福祉の制度と実施体系
 - (1) 社会福祉の制度と法体系
 - (2) 社会福祉行財政と実施機関
 - (3) 社会福祉施設
 - (4) 社会福祉の専門職
 - (5) 社会保障及び関連制度の概要
3. 社会福祉における相談援助
 - (1) 相談援助の理論
 - (2) 相談援助の意義と機能
 - (3) 相談援助の対象と過程
 - (4) 相談援助の方法と技術
4. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み
 - (1) 情報提供と第三者評価
 - (2) 利用者の権利擁護と苦情解決
5. 社会福祉の動向と課題
 - (1) 少子高齢化社会における子育て支援
 - (2) 共生社会の実現と障害者施策
 - (3) 在宅福祉・地域福祉の推進
 - (4) 諸外国の動向

授業修了時の達成目標

1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷について説明できる
2. 社会福祉の制度と実施体系について説明できる
3. 社会福祉における相談援助について説明できる
4. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて説明できる
5. 社会福祉の動向と課題について説明できる

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ③ 子ども家庭福祉 (中央法規出版)	レポート	100.0%	
	科目試験	100.0%	

科目名	こども家庭支援論	担当教員	砂川 亜紀美
科目コード	310011	授業形態	印刷
単位数	2	必修・選択	必修

授業概要 (テキストによる通信教育)

保育を取り巻く社会情勢が変化し、子育てを巡る地域や家庭の状況には多様な課題が存在する。それらの状況を踏まえ、子どもの育ちや家庭への支援を充実させるために、「こども家庭支援論」では子どもとその家庭の理解を深め、子育て家庭への支援に関する保育士としての基本姿勢や支援の内容、それを実践するための方法、技術等について学ぶ。

保育の現場で働く者が「家庭」を理解し、子どもの生活環境や生活状況の多様性を理解しつつ、子どもの最善の利益を尊重した柔軟な支援を行う力を身につけ、実践に役立ててほしい。

1. 子どもの家庭支援の意義と必要性
2. 子ども家庭支援の目的と機能
3. 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進
4. 子育て家庭の福祉を図るための社会資源
5. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義
6. 子どもの育ちの喜びの共有
7. 保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援
8. 保育士に求められる基本的態度
9. 家庭の状況に応じた支援
10. 地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力
11. 子ども家庭支援の内容と対象
12. 保育所等を利用する子どもの家庭への支援
13. 地域の子育て家庭への支援
14. 要保護児童およびその家庭に対する支援
15. 子育て支援に関する課題と展望

授業修了時の達成目標

1. 子育て家庭に対して保育士の行う相談等の支援の意義や保育士等の役割について理解する。
2. 保育士による子ども家庭支援の基本について理解する。
3. 子育て家庭に対する支援の体制について理解する。
4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ⑤ 子ども家庭支援論 (中央法規出版)	試験	100.0%	
	レポート	100.0%	

科目名	社会的養護 I	担当教員	比嘉 大輔
科目コード	310012	授業形態	印刷
単位数	2	必修・選択	必修

授業概要

- 1) 社会的養護の理念と概念
- 2) 社会的養護の歴史的変遷
- 3) 子どもの人権擁護と社会的養護
- 4) 社会的養護の基本原則
- 5) 社会的養護における保育士等の倫理と責務
- 6) 社会的養護の制度と法体系
- 7) 社会的養護のしくみと実施体系
- 8) 社会的養護とファミリーソーシャルワーク
- 9) 社会的養護の支援のあり方
- 10) 課程用語と施設養護
- 11) 社会的養護に関わる専門職
- 12) 社会的養護に関する社会的状況
- 13) 施設等の運営管理の現状と課題
- 14) 被措置児童等の虐待防止の現状と課題
- 15) 社会的養護と地域福祉の現状と課題

授業修了時の達成目標

1. 社会的養護の歴史的変遷について理解する
2. 社会的養護（養育ビジョン）の意義について理解する
3. 社会的養護と児童福祉の関連性について理解する
4. 社会的養護における制度や権利擁護を踏まえた実施体制等について理解する
5. 社会的養護における児童及び家族再構築に向けての支援及び児童の自立支援について理解する
6. 社会的養護における支援者としての役割と支援の在り方について理解する
7. 社会的養護における現状と課題を理解する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ⑥ 社会的養護 I (中央法規出版)	レポート	100.0%	
	科目試験	100.0%	

科目名	保育の心理学	担当教員	佐久本 夢来
科目コード	310013	授業形態	印刷
単位数	2	必修・選択	必修

授業概要

乳児期は人生の出発点絵あり、人間が一生のうちで最も成長する時期である。そのため、個々の発達に合わせた受容的で応答的な関わりが大切である。乳児保育の現状や課題を理解し、3歳未満時の発達を踏まえた保育内容と保育者の役割について学んでいく。

授業修了時の達成目標

乳幼児期のこどもの発達の過程について基礎的な知識を習得し、保育の意義を理解する。
 こどもの発達は環境との相互作用であるということを理解する。
 非認知能力（社会情動的能力）を育むには何が必要なのかを理解する。
 保育者としてこどもとの適切な関わり方を理解する。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ 保育の心理学	レポート	100.0%	
	科目試験	100.0%	

科目名	こどもの理解と援助	担当教員	小祿 朝也
科目コード	310014	授業形態	面接
単位数	1	必修・選択	必修

授業概要

1. 子どもの実態に応じた発達や学びの把握
 - 1) 保育における子どもの理解の意義
 - ・「保育所保育指針」から子どもの「発達段階」「子どもの姿」を捉える
 - 2) 子どもの理解に基づく養護及び教育の一体的展開
 - ・「人的・物的」環境の関係性
 - 3) 子どもに対する共感的理解と子どもとの関わり方
 - ・保育における共感的理解の実践方法を学ぶ
2. 子どもを理解する

(① 子どもの生活と遊び ②保育の環境としての保育者と発達 ③環境の移行や変化 ④子ども相互の関わりと関係づくり ⑤葛藤やつまづき)
3. 子どもを理解する方法
 - ・観察・記録・省察/評価・職員間の対話・保護者との情報の共有
 - ・PDCA サイクル
4. 子どもの理解に基づく発達援助
 - ・発達の理解から課題に応じた援助と関わり方の理解
 - ・特別な配慮を要する子どもの理解と援助
 - ・発達の連続性と就学前の活動と生活による理解と援助
 - ・ワーク (ワークショップ、ドキュメンテーション等)
5. まとめ
 - ・テスト

授業修了時の達成目標

1. 子どもの発育・発達について理解し、保育における子どもの理解と援助の在り方を学ぶ。
2. 子どもの健やかな成長を目標とし、保育の専門性をもった援助方法の実践を理解、実践する。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ 子どもの理解と援助	スクーリング	100.0%	

科目名	乳児保育 I	担当教員	宮川 名子
科目コード	310021	授業形態	印刷
単位数	2	必修・選択	必修

授業概要

乳児期は、人生の出発点であり、人間が一生のうちで最も成長する時期である。そのため、個々の発達に合わせた受容的で応答的な関わりが大切である。乳児保育の現状や課題を理解し、3歳未満児の発達を踏まえた保育内容と保育者の役割について学んでいく。

1. 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷
2. 乳児保および子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題
3. 保育所における乳児保育
4. 保育所以外の児童福祉施設における乳児保育
5. 家庭的保育・小規模保育等における乳児保育
6. 3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場
7. 3歳未満児の生活と環境
8. 3歳未満児の遊びと環境
9. 3歳以上児の保育に移行する時期の保育
10. 3歳未満児の発育・発達をふまえた保育者による援助やかかわり
11. 3歳未満児の発育・発達をふまえた保育における配慮
12. 乳児保育の計画・記録・評価とその意義
13. 職員間の連携・協働
14. 保護者との連携・協働
15. 自治体や地域の関係機関等との連携・協働

授業修了時の達成目標

- ・乳児保育を取り巻く社会的状況と課題を把握する。
- ・3歳未満児の発育・発達をふまえた援助やかかわりが十分できるようにする。
- ・保護者との連携・協働のあり方を理解する。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
新・基本保育シリーズ 乳児保育 I・II	レポート	100.0%	
	科目試験	100.0%	

科目名	こどもと環境	担当教員	真喜志 昇
科目コード	310015	授業形態	面接
単位数	1	必修・選択	必修

授業概要

子どもの発達と環境の関わりについて、幼稚園と周りの環境を見学と実習をする中で、幼児に必要な環境設定についての知識を習得する。また、人的環境である保護者や地域の方との連携・融合を通し環境をどう工夫し指導や実践に生かしていくか具体的な実践や事例を通して理解を深める。

授業修了時の達成目標

- ・身近な環境との関わりに関する領域「環境」の狙いや内容について理解する。
- ・子どもの発達にあった環境を考えることができる。
- ・保育実践における環境構成と援助のあり方について習得できる。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
こどもの育ちと教育環境	スクーリング	100.0%	

科目名	こどもと人間関係	担当教員	山本 雅子
科目コード	310016	授業形態	面接
単位数	1	必修・選択	必修

授業概要

保育所保育指針における5領域に位置づけられる領域「人間関係」は、幼児期の発達において非常に重要なものである。

本科目では、以下について学ぶことを目的とする。

1. 幼児教育の基本
2. 乳幼児期の発達と人間関係
3. 子どもと保育者の関わり
4. 遊び、生活を通して育つ人との関わり
5. 個と集団の育ち
6. 人との関わりを見る視点
7. 現代の保育の課題と人間関係

授業修了時の達成目標

- ・子どもの発達について理解し、保育者として適切な関わりについて考えることができる。
- ・子どもだけでなく、保護者、同僚者との人間関係について、自分なりの関わりを考えることができる。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
最新保育講座8 保育内容「人間関係」	スクーリング	100.0%	

科目名	こどもと表現 I	担当教員	中村 美和
科目コード	310017	授業形態	演習
単位数	1 単位	必修・選択	必修
コマ数	10 コマ		15 時間

授業概要 (スクーリングによる通信教育)

1. 幼児教育の基本
2. 乳幼児期の発達と表現
3. 生活の中にあるものをあじあい、感性を養う
4. 自然やものの美しさに触れる～感性を身につける
5. コミュニケーションとしての表現
6. 保護者が支える表現
7. 子どもの豊かな感性と表現
8. 子どもの豊かな感性と造形表現
9. 領域「表現」の現代的課題と新たな試み

音楽表現を通して (実技演習)

手遊び・歌遊び・オペレッタ (表現の楽しさを知ろう)
 オペレッタで舞台作成、衣装作成を通して表現活動をする

教科書・教材 ※講師使用

領域 表現

無籐隆 監修 浜口順子 編者代表 (萌文書林)

手遊び指遊び歌遊びブック①② (ひかりのくに株式会社)

授業修了時の達成目標

表現を支える保育者として子どもが始めたことを大切に受け止め、共に感じ共に楽しむ人として関わる。
 様々な表現に興味や関心があり、表現の楽しさを知っている。
 子どもの姿を丹念に捉え、豊かな感性を育む環境をつくり、心が動き表現する喜びをあげ、多様な表現が自由に行き来する生活を創ることが出来る保育者を育む。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	受講態度	30%	
	課題	20%	
	単位認定試験	50%	

科目名	こどもと造形 I	担当教員	平岡 昌也
科目コード	310018	授業形態	面接
単位数	1	必修・選択	必修

授業概要

【2 日間の授業全体を通じた概要】

多様な技法や様々な色彩を用いた制作を通じて芽生える、自身の豊かな感性に気づく機会とする。

2 日間の経験を踏まえ、こども達の造形表現や感性の良き理解者となるよう、基礎理論や指導法を学習し体験する。

〈内容〉

1 幼児の造形表現の意義

2 造形に発展する様々な素材と表現方法について

- ・事例紹介（保育園児の制作事例、写真で紹介）
- ・制作体験（様々な描画材・素材用いた制作を体験する。）
- ・鑑賞（お互いの作品を見て良いところを発表する。）

3 地域環境の場と幼児の造形表現の関わり

■ 地域施設との連携

- ・事例紹介

■ 美術館との連携

- ・事例紹介

■ 行事における造形表現

- ・事例紹介（保育園児の制作事例、写真で紹介）
- ・制作体験（様々な描画材・素材用いた制作を体験する。）
- ・鑑賞（お互いの作品を見て良いところを発表する。）

授業修了時の達成目標

【授業の目的・ねらい】

表現方法や素材についての学習と体験を通じて、幼児の造形表現の意義について深く考察する。

【授業終了時の達成目標】

様々な描画材や素材を用いた造形表現の事例や、実際の制作体験を通じて、幼児の造形表現の意義を理解する。

幼児の造形表現の意義を踏まえた、表現手段や素材選びを意欲的に研究できるようになる。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
幼児の造形表現	スクーリング	100.0%	

科目名	児童文化演習	担当教員	大田 利津子／宮城 潤
科目コード	310019	授業形態	面接
単位数	2	必修・選択	必修

授業概要

1. 児童文化とは何か・児童文化財の種類
2. 子どもの為の伝承文化Ⅰ 沖縄のわらべうた・手遊び・子守歌
3. 子どもの為の伝承文化Ⅱ 伝承玩具制作 お手玉
4. 伝承玩具制作 お手玉・遊び方・実技
5. 子どもの為の伝承文化Ⅲ 沖縄の民話を聞く・歴史、特質を知る
6. 沖縄の民話を覚えて語るⅠ 話を選ぶ
7. 沖縄の民話を覚えて語るⅡ 話を再話する
8. 沖縄の民話を覚えて語るⅢ 覚えて語る・語りを聞く①
9. 覚えて語る・語りを聞く②
10. 沖縄の民話・現状を知る（絵本・紙芝居・動画）
11. 絵本論
12. 絵本の読み解きと読み聞かせ実践（0・1・2歳）
13. 絵本の読み解きと読み聞かせ実践（3・4・5歳）
14. お話の小道具作りⅠ 軍手人形（うさぎ人形）制作
15. お話の小道具作りⅡ 軍手人形（うさぎ人形）制作・演じ方・発表
16. 紙芝居Ⅰ 特質を知る・演じ方
17. 紙芝居Ⅱ 読み解き・演じる（実技）
18. 玩具制作Ⅰ バタバタ作り
19. 玩具制作Ⅱ バタバタ作り・演じ方
20. 試験

授業修了時の達成目標

1. 児童文化とは何かを理解し、子どもの成長における児童文化財の役割を理解できる。
2. 各児童文化財の理論の理解と活用技術の習得
3. 保育の現場で、児童文化財を種々選択し、活用、実践する能力が身につく。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
1. 子どもがおしえてくれました本当のおもしろさ 2. 随時、プリント資料を配付します。	スクーリング	100.0%	

科目名	こどもと音楽表現 I (ピアノ)	担当教員	仲松 あかり
科目コード	310020	授業形態	実技
単位数	1	必修・選択	必修

授業概要

前半

- ・ こどもの音楽的感性を育てるために、楽典などの知識を理解し、譜読みができるようにする。
- ・ 保育における音楽教材等の活用、音楽的環境の展開のための技術を、実践的に習得する。
- ・ 積極的にスクーリングに参加し、自主練習を行えるようにする。

後半

- ・ 読譜力やピアノ奏法の技術が更に高められるようにする。
- ・ こどもの生活や行事等における歌の大切さを理解し、歌う技術の習得と弾き歌いができるようにする。
- ・ 積極的にスクーリングに参加し、周りとは協力すると共に、音楽の楽しさを感じられるようにする。

スクーリング形態は、前半・後半共に、習熟度に応じ全体指導と個別指導を行う。

授業修了時の達成目標

音楽に関する基礎知識や技術を習得し、幼児教育現場や保育現場で役立つ幼児曲などを、ピアノで両手で弾けるようになる。

前半:試験曲(両手でピアノのみ5曲すべて) ※原則、指定教科書・教材より

- ① むすんでひらいて ② ハッピーバースデー ③ かたつむり ④ ハ長調音階 ⑤ おかたづけ

前半の基礎的な学習と、後半開始までの自主練習を踏まえ、幼児教育現場や保育現場で役立つ幼児曲などの、弾き歌いの技能を身につける。

後半:試験曲(弾き歌い3曲すべて) ※原則、指定教科書・教材より

- やぎさんゆうびん ② 一年生になったら ③ 朝のうた

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
うたえる!ひける!ピアノ曲集①	スクーリング	100.0%	